

# コンサートレポート

## Mains des trois chats & 流山シニアアンサンブル ジョイントコンサート

2021年6月発足の当団にとつての実質的「発足記念コンサート」として、2022年12月3日スタートおたかの森ホールにて表題のコンサートを開催しました。

「ジョイントコンサート」とあるようにコンサートは2部構成。前半は我々をご指導いただいている横林先生のお弟子さんたちによるフレッシュな舞台、後半は我々流山シニアアンサンブルの舞台、最後に若者とシニアの合同演奏で締めくくりました。

コロナ禍がまだまだ続く状況の中272名の来場者を得てのコンサート。流山シニアアンサンブルの舞台のスタートは、団員有志によるアンサンブル及び独奏。フルートアンサンブル、チェロアンサンブル、バイオリン独奏、ホルン独奏の4組。コンサート終了後に回収したアンケートに「度胸と積極性に拍手!」との記載があり、嬉しいやら恥ずかしいやら・・・。シニアアンサンブル合奏では5月の全国大会で演奏した2曲を含め計4曲、心を込めての演奏に会場から大きな拍手をいただきました。

最後に飾った合同演奏。エキストラとして茂原シニアで活躍されているトランプエットの高橋さんを加え総勢45名。演奏した曲目はヘンデルのハレルヤコーラス。クラシック、しかもバロック音楽。大半の団員が演奏したことがありません。横林先生のかつての教え子たる若者たちの強力援軍を得て何とか本番にこぎつけられ、充実した一日を締めくくられました。

代表 岩瀬 進介



## アンサンブル シーガル横浜 第11回定期演奏会

会場の確保が難関でしたが、2023年12月16日(土)に横浜市港北公会堂にて、第11回定期演奏会を開催しました。

今回は横浜市港北区のタウンニュースで、当楽団の定期演奏会が紹介された事も功を奏して、開場前から多くのお客様がエントランスに集まり、開演前に客席はほぼ満席に・・・立ち見の人が着席を促されるほどの大盛況で360人もの大勢のお客様を迎えることができました。嬉しい悲鳴です。

オーブニングでは華やかに「銀河鉄道99の歌」と題してグループサウンドズや加山雄三メドレーなど5曲を、第2部では「心にしみる世界の名曲」と題して映画音楽など4曲と、ラストは今井協子先生の編曲による、ミュージカル映画の中の7曲をメドレーにした、演奏時間4分の大曲「ウエストサイド ストーリー」を演奏しました。

私たちには少々難易度の高い編曲でしたが3カ月の集中練習で聴いて頂けるまでに仕上げる事ができ、多くの方から好評を頂きました。

終わりににはベーターベンの「喜びの歌」を、会場の皆さんとの大合唱で締めくくることができました。また前回できなかった終演後のお見送りは、家族からのお祝いや、久しぶりに会う同級生や同僚とも、旧交を深める良い機会となりました。

(佐藤章一)



## 茂原SE第3回演奏会

茂原市東部台文化会館

茂原シニアアンサンブルは結成4年目を迎えて、地域の皆様に楽しんでいただきたいという想いで第3回演奏会を開催いたしました。とはいえ、ほぼ新曲で間違いなく演奏できるか?お客様がどのくらい集まっていたか?おな?など不安を胸に演奏会を迎えました。

当日は指揮者横林先生を先頭に団員総出で舞台・会場などのセッティング終了後に、全曲のポイン部分のリハーサルを繰り返して行い、団員の緊張感がピークに達する時間が来ましたが、さあ、これから演奏会本番!ステージに上がるとエッ!ホント?何と何と!満席のお客様。

「CHRISTMAS CONCERT 2023」と銘打ち、第一部1曲目はご存じ「昇」、昨年10月鬼籍に入つた谷村新司氏の名曲です。団員になつていく事もあり普段から練習を積み重ねて、安定感のある演奏でスタートです。「冬の歌メドレー」、百万本のバラ」前半のト리는難しい「くるみ割り人形」と続き、第二部は、クリスマスに関する7曲を演奏しました。アンコールでは団員の演奏に合わせてお客様が合唱して終了。コロナ後と言うこともあるのでしょうか?ボルテージが高まった演奏会となりました。

またインタビューコーナーでは、団員紹介と、松永前代表よりアンサンブル音楽の楽しさや茂原SE立ち上げ経緯をお話いただき、更には今後の新しい団の立ち上げ表明など、楽しい雰囲気なかで進行できました。

今回の演奏会で、音楽で人を幸せに、地域貢献ができる、だからこそ音楽は素晴らしい、そして音楽を楽しもうと再認識できた事が一番の収穫だったような気がします。

記・大関 悦夫

